

～京都大学ホームカミングデイ～



京都大学技術士会

第8回大会・特別講演会

日時：2020年11月7日（土）15:00～17:30

主催：京都大学技術士会

下記地図参照

場所：京都大学時計台記念館 国際交流ホール I 定員 45名

機械振興会館 6-65 会議室:Zoom サテライト東京会場 定員 20名

（定員になり次第締め切らせて頂きます。当日マスク着用、検温等の新型コロナウイルス対策にご協力よろしくお願いします。）

講演：「超臨界流体に操られ踊らされた研究」

講師 京都大学大学院工学研究科長 大嶋 正裕

特別講演：「気候変動下における高強度降雨に伴う土砂災害発生メカニズムとその対応策について」

講師 大津 宏康（おおつ ひろやす）

松江工業高等専門学校 校長



- 1981年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
- 1981年 大成建設（株）入社
- 1997年 京都大学大学院工学研究科助教授
- 2003年 京都大学大学院工学研究科教授
- 2020年 京都大学名誉教授

特別講演内容：

日本では、2000年代初頭より高強度降雨の発生頻度の増加に伴い、洪水災害あるいは地すべり・土石流による土砂災害の発生事例も増加してきた。これまでに、その発生メカニズムの解明および崩壊予測を目的とした数値解析結果が数多く報告されてきたが、その基本概念は、水の流れは均質でかつゆるやかな流れであるという仮定条件に基づくものである。我々の研究グループは、この仮定条件が、線状降水帯による高強度降雨の浸透時においても成立つか否かに疑問を抱いてきた。このため、2007年～2020年に、タイにおいてカセサート大学およびアジア工科大学の協力を得て、短時間高強度降雨であるスコール発生時の降雨浸透挙動に関する原位置計測を実施してきた。

本講演では、この計測結果により得られた土砂災害の発生メカニズムに関する知見に加え、タイにおける大規模地すべり・土石流発生事例でのリスク対応策について示すものとする。

参加費：講演会 2000円（学生 1000円）

申込み方法（インターネットで申込みをお願いします）

京都大学技術士会のホームページ <http://ku-pe.net/> のトップページにあるイベント案内「[お申し込みはこちらから！](#)」から申込みしてください。京都会場、東京会場、いずれかを選んで下さい。

開催場所：京都大学吉田キャンパス



機械振興会館



- 東京メトロ日比谷線・・・神谷町駅下車 徒歩 8分
- 都営地下鉄三田線・・・御成門駅下車 徒歩 8分
- 都営地下鉄大江戸線・・・赤羽橋駅下車 徒歩 10分
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線・大門駅下車 徒歩 10分
- JR山手線・京浜東北線・・・浜松町駅下車 徒歩 15分